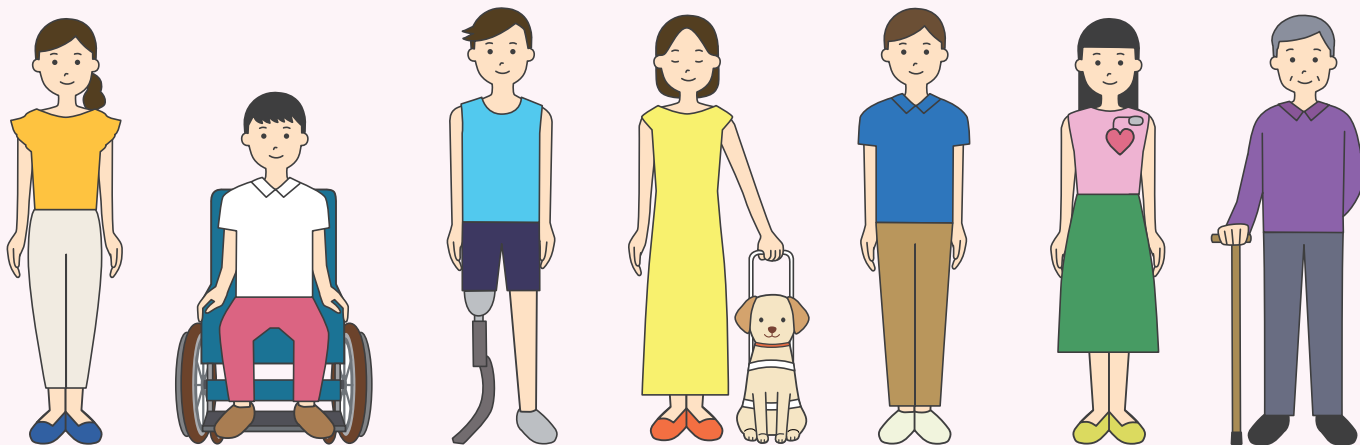


しょうがい ひと ひと 障害のある人もない人も とも く いしかわけん 共に暮らしやすい石川県をつくろう

だれもが暮らしやすい社会を考えよう

みんなでつくるくらしやすいまち



いしかわけん しょうがい ひと さべつ しょうがい ひと ひと わ
石川県では、障害のある人への差別をなくし、障害のある人となない人とで分けるこ
となく、おたがいにささあ い しゃかい めざ
助け合いながら生きることができる社会を目指しています。
みなさんひとりひとりが、できることから取り組みましょう。

さべつ
差別をしては
いけません



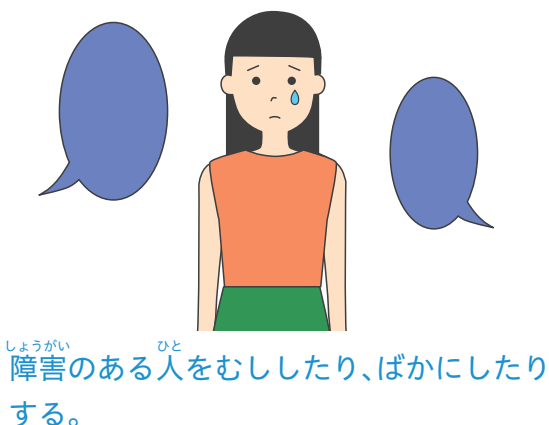
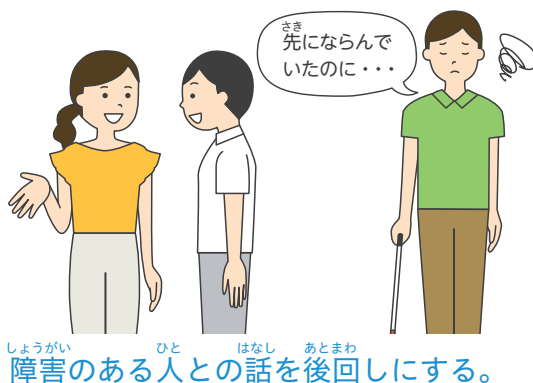
やさしい
こころ
心くばりを
しましょう

いしかわけん
石川県

差別をしてはいけません

しょうがい 障害があるからといって、よくないあつかいをしたり、仲間外れ
なかまはず
にしたりして、しょうがい 障害のない人 ひととちがう たいおう 対応をしてはいけません。

たとえば、このようなことはしてはいけません。



イラストのようなことを
されたら、どんな気持ちに
なるかかんがえてみましょう。

しょうがい ひと
障害のある人にとって、どん
な心くばりをされるとうれ
しいかかんがえてみましょう。

やさしい心くばりをしましょう

しょうがい ひと
障害のある人がこまっているときには、相手のことを考えて、
こころ くふう
心くばりや工夫をしましょう。

たとえば、このような心くばりをしましょう。



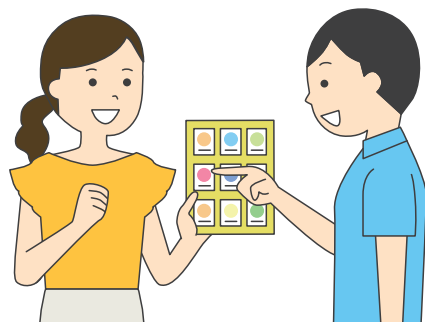
みみ ひと しゅわ かみ
耳がきこえない人と、手話をしたり、紙に
か はなし
書いて話をする。



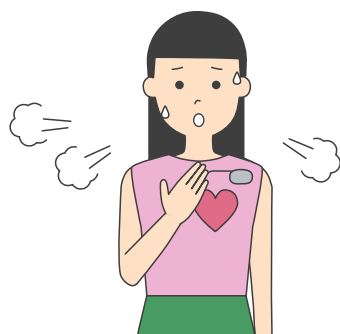
くるま
だんさで車いすをおす。



め み ひと みち あんない
目の見えない人に、道を案内する。



ことば ひと
むずかしい言葉がわからない人に、わかり
ことば え つか はな
やすい言葉や絵を使って話す。



ひと も
つかれやすい人のにもつを持つ。



ひと てつだ
こまっている人がいたら、手伝えることが
こえ
ないか声をかける。

とも い しゃかい かんが 共に生きる社会を考えてみよう



あなたの住んでいるまちで、障害のある人がこまってしまうことはありませんか？
絵の中で、どんな心くばりができるか考えてみよう。

ヘルプマーク



見た目では分からなく
ても、心くばりや手助け
が必要ということをまわ
りの人に知らせることの
できるマークです。

シンボルマーク



いしかわ
共生社会実現

共に生きる社会をつくるた
めの石川県のマークです。
いろんな個性のある人が
笑顔になっているイメージ
です。

相談先 差別をされてこまっているなどの相談をききます。

石川県障害者権利擁護サポートデスク

電話 076-225-1464 FAX 076-225-1429 Mail shofuku2@pref.ishikawa.lg.jp

※住んでいる市や町にも相談できます。

発行 石川県 健康福祉部 障害保健福祉課 〒920-8580 金沢市鞍月1丁目1番地